

# 自我論集



[自我論集 下载链接1](#)

著者:ジークムント・フロイト

出版者:ちくま学芸文庫

出版时间:1996/06/10

装帧:文庫判

isbn:9784480082497

「わたし」の意識はわたしが知らずにいる無意識によって規定されている。「意識」には「無意識」を、「理性」には「リビドー」を対置して、デカルト以来のヨーロッパ近代合理主義に疑問符をつきつけたフロイト。「自我」（「わたし」）を「意識」「前意識」「無意識」という構造として理解しようとした初期の論文から、それを巨大な「エス」の一部ととらえつつ「超自我」の概念を採用した後期の論文まで、フロイト「自我論」の思想的変遷を跡づけた。「欲動とその運命」「抑圧」「子供が叩かれる」「快感原則の彼岸」「自我とエス」「マゾヒズムの経済論的問題」「否定」「マジック・メモについてのノート」の8編を、新訳でおくる。

目次

欲動とその運命

抑圧

子供が叩かれる

快感原則の彼岸

自我とエス

マゾヒズムの経済論的問題

否定

マジック・メモについてのノート

作者介绍:

西格蒙德・弗洛伊德（Sigmund Freud，1856年5月6日－1939年9月23日），原名Shlomo Sigismund Freud，奥地利精神分析学家，犹太人。精神分析学的创始人,称为“维也纳第一精神分析学派”以别于后来由此演变出的第二及第三学派。著作《梦的解析》、《精神分析引论》等。提出“潜意识”、“自我”、“本我”、“超我”、“俄狄浦斯情结”、“性冲动”（Libido）等概念，认为人类男性天生具有弑父娶母的欲望和恋母情结（即俄狄浦斯情结，参见：俄狄浦斯），女性天生具有弑母娶父的欲望和恋父情结（又叫厄勒克特拉情结，参见：厄勒克特拉），以及儿童性行为等理论。其成就对哲学、心理学、美学甚至社会学、文学等都有深刻的影响，被世人誉为“精神分析之父”。

目录:

[自我論集\\_ 下载链接1\\_](#)

标签

Philosophy

Germany

评论

-----  
[自我論集 下载链接1](#)

书评

-----  
[自我論集 下载链接1](#)